

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名 : 無洗浄タイプフラックス  
 製品コード : HB-15F, 20F, 1000F  
 整理番号 : SG043146  
 会社 : サンハヤト株式会社  
 住所 : 東京都豊島区南大塚3丁目40番1号  
 担当部門 : 本社 営業部  
 電話番号 : 03-3984-7791  
 FAX : 03-3971-0535  
 用途 : フラックス  
 作成日 : 1998年07月01日  
 改訂日 : 2016年06月01日 REV. 2.01

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 引火性液体 区分2  
 急性毒性(経口) 区分5  
 急性毒性(経皮) 区分5  
 眼損傷性/眼刺激性 区分2  
 生殖毒性 区分2  
 標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分1(中枢神経系、腎臓、全身毒性)  
 区分3(気道刺激性)  
 標的臓器/全身毒性(反復暴露) 区分2(血管、肝臓、脾臓)  
 吸引性呼吸器有害性 区分2  
 ※上記以外の項目は「分類対象外」、「区分外」、「分類できない」。

ラベル要素  
 絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 : 引火性の高い液体及び蒸気  
 飲み込むと有害のおそれ  
 皮膚に接触すると有害のおそれ  
 強い眼刺激  
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
 臓器(中枢神経系、腎臓、全身毒性)の障害  
 呼吸器への刺激のおそれ  
 長期または反復暴露による臓器(血管、肝臓、脾臓)の障害のおそれ  
 飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ  
 注意書き : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。  
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火から遠ざけてください。一禁煙。  
 保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用してください。  
 必要に応じて個人用保護具を使用してください。  
 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用してください。  
 静電気放電に対する予防措置を講じてください。  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。  
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないでください。  
 この製品を使用する時に、飲食またな喫煙をしないでください。  
 取扱い後は良く手を洗ってください。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学名	ロジン	イソプロピルアルコール	活性剤
含有量 (wt%)	1~10	>90	1~3
官報公示整理番号	—	2-207	—
CAS No.	—	67-63-0	—
EINECS	—	200-661-7	—
PRTR 法	非該当	非該当	非該当

### 4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で最低15分以上洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗浄する。洗浄後、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染衣服は直ちに脱ぎ、多量の流水で触れた部分を十分に洗い流す。必要に応じ医師の手当を受ける。
- 吸引した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し安静に努め、速やかに医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中をよく洗浄させる。無理に吐かせず、速やかに医師の手当を受ける。

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、二酸化炭素、乾燥砂、泡等
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 特有の危険有害性 : 引火性の高い液体。火災により刺激性、毒性、又は腐食性のガスが発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 初期消火には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場所は、容器及び周辺に散水し冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :  
作業の際は保護具を着用し、漏洩した液が眼や皮膚に付着したり、蒸気を吸入したりしないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源を取り除く。関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出液を下水や側溝等に流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 :  
少量漏出の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量漏出の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取 扱 い : 火気、衝撃火花などによる着火源を生じないように注意する。吸入を防ぎ、眼、皮膚との接触を避ける。必要に応じて保護具を着用し、換気の良い場所で風上から作業する。密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。
- 保 管 : 容器を密閉し、換気の良い冷暗所に施錠して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置 (IUPACアルコールの情報を記載)

- 管 理 濃 度 : 200ppm 未設定
- 許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会 400ppm  
ACGIH TLV 200ppm
- 設 備 対 策 : 室内での取扱いの場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明確に表示する。
- 保 護 具 : 有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋等を使用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外 観 等 : 無色透明液体
- 臭 い : アルコール臭
- p H : 情報なし
- 融 点 :  $-89.5^{\circ}\text{C}$
- 沸 点 :  $82.4^{\circ}\text{C}$
- 引 火 点 :  $11.7^{\circ}\text{C}$
- 爆 発 限 界 : 2.02~12.7vol%
- 蒸 気 圧 : 4.4kPa ( $20^{\circ}\text{C}$ )
- 蒸 気 密 度 : 情報なし
- 比 重 : 0.80 ( $20^{\circ}\text{C}$ )
- 溶 解 度 : 水; 一部不溶                      その他; 種々の有機溶剤と自由に混合
- n-オクタノール/水分配係数 : 情報なし
- 自然発火温度 :  $460^{\circ}\text{C}$
- 分 解 温 度 : 情報なし

## 10. 安定性及び反応性

- 安 定 性 : 通常状態では安定である。
- 反 応 性 : 強酸化剤と反応する。
- 避 け る べ き 条 件 : 高温
- 混 触 危 険 物 質 : 強酸化剤
- 危 険 有 害 な 分 解 生 成 物 : 一酸化炭素等

## 11. 有害性情報 (IUPACアルコールの情報を記載)

- 急 性 毒 性 : 経口ラット LD<sub>50</sub> 3,437mg/kg  
経皮ウサギ LD<sub>50</sub> 4,059mg/kg
- 皮 膚 刺 激 性 : 情報なし
- 刺 激 性 ( 眼 ) : ウサギで軽度~重度の刺激性の報告がある。
- 感 作 性 : 情報なし
- 生 殖 細 胞 変 異 原 性 : 情報なし
- 発 がん 性 : 情報なし
- 生 殖 毒 性 : ラットで生殖毒性の報告がある。

- 特定標的毒性／全身毒性 : ヒトで中枢神経系、腎臓、全身毒性の障害の報告がある。  
(単回暴露) ヒトで気道刺激性の報告がある。  
特定標的毒性／全身毒性 : ラットで血管、肝臓、脾臓の障害の報告がある。  
(反復暴露)  
吸引性呼吸器有害性 : ラットで吸引性呼吸器有害性の報告がある。

## 1 2. 環境影響情報

- 生態毒性 : 魚類 (ヒメ<sup>+</sup>カ) LC<sub>50</sub> >100mg/L  
残留性・分解性 : 情報なし  
生態蓄積性 : 情報なし  
土壌中の移動性 : 情報なし  
オゾン層への有害性 : 情報なし

## 1 3. 廃棄上の注意

内容物や容器を指定廃棄物処理業者に産業廃棄物として委託する。

## 1 4. 輸送上の注意

- 国連分類 : クラス3 (PG-II)  
国連番号 : 1866  
陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等の定めるところに従うこと。  
海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。  
航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

## 1 5. 適用法令

- 消 防 法 : 危険物第4類第1石油類 (非水溶性)  
P R T R 法 : 非該当  
労働安全衛生法 : 施行令第18条 名称等を表示すべき有害物  
施行令第18条の2 名称等を通知すべき有害物  
令別表第1 危険物 (引火性の物)  
有機溶剤中毒予防規則 : 該当 (第2種有機溶剤)  
船舶安全法 : 危規則第3条危険物 引火性液体類  
航 空 法 : 施行規則第194条危険物 引火性液体  
港 則 法 : 施行規則第12条危険物 引火性液体類  
輸 出 貿 易 管 理 令 : 対象外

## 1 6. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

### 改訂履歴

改訂日	理由	備考
2012.04.10	会社情報の訂正等	
2015.12.25	JIS Z7253 に準じた改訂	
2016.06.01	製品コードの追加	